Creative Enzymes®

バチルス属由来のキサンタンリラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0925

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、キサンタンリラーゼ（EC 4.2.2.12）は、ポリサッカライドであるキサンタンのβ-D-マンノシル-β-D-1,4-グルクロンシル結合を切断する化学反□を触媒する酵素です。この酵素は、ポリサッカライドに作用する炭素-酸素リラーゼのファミリーに属します。キサンタンリラーゼは1987年に最初に同定され、部分的に精製されました。
別名	キサンタンリパーゼ; EC 4.2.2.12

製品情報

由来	バチルス属
形態	液体
EC番号	EC 4.2.2.12
CAS登□番号	113573-69-6
分子量	~ 81.6kD
活性	~ 3,035 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 6.0および40°CのHEPESバッファー中で、キサンタンガムに□して1分あたり1.0の吸光度の□加を引き起こすのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	4°C